

# ふじさわ子育て支援連絡会

H24.9.18 第4回交流会 10:00～12:00

参加者：14名（10団体）＋乳幼児2名



～交流会議事録～

## ■前半：団体発表 10:00～

※前半は、連絡会会員の2団体に活動発表をお願いしました。発表順に掲載。

※発表団体からいただいた原稿をそのまま掲載しています。

## 【主任児童委員連絡会：青木さん、松本さん】

主任児童委員とは？

主任児童委員は皆さんの地域に必ずいます。子育て・児童の福祉について担当する民生委員児童委員です。

民生委員児童委員は長い歴史がありますが、主任児童委員は少子化が進み子どもを取り巻く問題が多様化複雑化する中、健やかに子供を生み育てる環境づくりを支援するために平成6年に設置されました。

民生委員児童委員とは？

市内16地区で、民生委員児童委員協議会を組織して活動しています。略称で民児協と呼ばれることが多いです。任期は3年です。

各地区民児協で、主任児童委員は2～3名です。

主任児童委員連絡会は藤沢市民児協の組織下で平成9年に発足され、現在35名で活動しています。

ほとんどの活動は、各地区民児協のなかで、民生児童委員の方々と連携しての活動ですが、主任児童委員相互の横のつながりを持ち、文字どおり連絡をとり合う会がこの主任児童委員連絡会です。

この子育て支援連絡会と同じように情報を共有できる場と言えらと思います。

主任児童委員連絡会は月に一回の活動で、内容は勉強会や研修会、施設見学、事例検討会、情報交換など、年間計画を立てて行っています。

最近の活動では、自閉症児親の会の方よりお話を伺い勉強になりました。また、学校教育支援センターの見学を行いました。

そのほか、ピンクのリーフレットにあるような個別の支援活動があります。身近な地域の相談相手の役割があります。また、裏面にある行政、関係機関とのパイプ役にもなります。そして関係機関の方々と連携して課題を抱える親子やご家庭への支援、見守りを行います。

連絡会では、年に数回関係機関である児童相談所とこども青少年相談課の方々との情報交換を行っています。

また、委員がそれぞれ抱えている問題についての事例検討や意見交換を行っています。

一期目の新任委員からベテラン委員までが会するので新鮮な疑問から、経験談など活動する上でとても貴重な場だと思えます。

このピンクのリーフレットは、私たちが直接小学校にお届けして小学1年生に学校から配布していただいています。担当地区の小学校・中学校とも連携をとり、地域の子どもたちの様子を知るためにも、交流の機会を持つように努めています。

そして、もう一つ重要な活動が子育て支援活動です。地域の子どもたちが健やかに育つために、各地区で子育て広場、サロン等の活動をしています。主任児童委員が関わっている広場を紹介します。

・藤沢公民館	子育てプレイルーム	第2(土)10時～12時
・村岡公民館	むらっこ広場	第2・4(金)10時～12時
・善行公民館	ふれあい子育て広場	第2(木)10時～12時
・六会公民館	むつあい広場	第4(月)10時～12時

- ・石川コミュニティセンター いしかわ子育て広場 第3(月)10時～12時
- ・大庭公民館 びよびよ広場 第3(火)9時半～12時
- ・片瀬公民館 子育て広場 第1(水)10時～12時
- ・片瀬ボランティアセンター にこにこ広場 第1以外(木)10時～15時
- ・遠藤公民館 のびのび広場 第4(火)10時～12時

それぞれ子育て応援メッセの冊子に記入されていますので詳細はご覧いただければと思います。

#### 〈のびのび広場について（遠藤地区）〉

遠藤公民館で地区民児協が主体でおこなっています。今年で3年目です。基本はフリースペースです。のびのび広場の特徴は男性の民生児童委員も見守りのお当番を下さっているところです。

広場は子育てを支援するだけでなく地域の様子や情報を把握するためにも大切な活動だと思えます。

また、今後の課題は新しい方への紹介の仕方、孤立している方にどのようにしたらきていただけるかなどです。

#### 〈かたせ・にこにこ広場(片瀬地区)〉

片瀬ボランティアセンターにて、月に3～4回にこにこ広場を開催しています。関わっている地域団体は、民児協、社協、青少協のみなさんです。現在、10時から3時まで開いています。1時間ほど昼食の時間を決めて、親子で食事をとっています。離乳食を持ってくるお母さんもいます。

臨床心理士さんが常駐でいますので、相談などもしています。新しい親子に来ていただくため、月に一回のミニ講座を開いています。

最後に、子育て応援メッセでは、主任児童委員連絡会のブースや、ボランティアなどでほぼ全員の委員の参加の予定です。

これからも地域の身近な存在として子育て支援活動をしていきたいと思えます。

#### ～質問から～

##### 「世代交代はどうしているか？」

他の地域団体や、若いボランティアさんたちとの交流もあるので、無理なく仕事の分担をしています。

##### 「公募ではないので、どのようにして、なったのかを教えてください」

主任児童委員は地域の町内会や地域団体などで構成している推薦委員会の推薦があって委員の選出があります。

##### 「地域の障がい児や、障がい者の把握はできているのか？」

現在は個人情報の問題もあり、把握できていません。福祉団体や自治会などを通じて、申し出て下さればお手伝い出来る事があるかもしれません。

以上 (主任児童委員 青木、松本)

---

#### 【青空自主保育の会「でんでんむし」：桑川さん、杉田さん】

青空自主保育でんでんむしは、2001年に鎌倉の自主保育グループの本を読んで感銘を受けた藤沢在住の4人の母が自分たちでもやってみようと動いたことから始まりました。

- ・子供たちの仲間作りをしよう
  - ・母親たちも同じ子育てをしている仲間としてお互い信頼関係を築き上げていきたい
  - ・私たちの住んでいるこの湘南の海や自然に囲まれた豊かな環境を十分に生かした活動をしたい
- そんな願いから、スタートしました。

まもなく、自分の子どもを自主保育で育てた母であり、主旨を理解してくれる一人の保育者と出会いました。そして、メンバーも少しずつ増えていきました。

現在では、保育者は3人おり、2歳前から就学前までの子どもが年齢別に3クラスに分かれ、1クラスにつき10人前後の総勢30人程で活動しています。  
活動場所は、広町の森だけでなく、新林公園や長久保公園で活動することもあります。  
雨の日には児童館を利用させていただきます。  
時には電車に乗って遠出をしたり、夏から秋には海で活動します。  
フットワーク軽く、季節や天候によって臨機応変に活動場所を変えることができます。

でんでんむしは保育園や幼稚園に預ける保育とは違い、親が主体となって会を運営し、交代で当番にあたり、活動を行っています。  
話し合いを常に続けながら自主運営をするため、活動内容や企画など自由に決めることができますが、全てを自分たちでやるための大変さもあります。  
しかし、わが子の成長や、一緒に活動している子供たちとの触れ合い、日々心と身体の成長していく姿を近くで見守ることは幸せな気持ちを味わえます。また、子どもたちだけでなく親同士も同じ子育てをする同士として、成長できることを大切に思っています。

### <質疑応答>

質問：お金はどのように集めるのでしょうか？また、当番母の決め方や保険についても教えてください

答え：クラスごとに月会費を集めています。例えば、週二回の小さい子のクラスは約5000円、週4回の大きい子のクラスは12000円です。また、でんでんむし全体のお金として年会費を集めます。その他クラスでかかる雑費は必要分のみその都度集めます。

当番は、当番係が決めます。活動に入る当番のほかにも、当番親の都合が悪くなった場合のスタンバイ当番、当番親の赤ちゃんの世話をする赤ちゃん当番などがあります。保険は、母子ともにスポーツ保険に加入しています。

質問：雨の日はどのように活動していますか？

答え：小雨程度なら、山の中を歩くこともありますが、藤沢、鎌倉の児童館で活動をしたり、屋内施設にでかけることもあります。

質問：放射能の問題についてはどのように対応していますか？

答え：活動場所での放射能は測定しました。それでも屋外での活動に抵抗があり活動をやめる方も数名いました。放射能の問題が起こってから、雨の日は屋内で活動することが増えました。

質問：対象の子どもの年齢は？

答え：山を歩けるようになる年齢、つまり1歳後半くらいから就学前の子どもを対象としています。

質問：保育者は母以外の方がなるのでしょうか？

答え：そうです。現在3名いる保育者は、他の自主保育を卒会したお母さんたちです。

質問：ということは、とくに資格は必要ないのですね。

答え：保育者になるのに、資格は必要ありません。でんでんむしや自主保育の特性をよく理解してくださる方をお願いしています。

質問：一度にみられる子どもの人数には限度があるのではないのでしょうか。

答え：そうですね。みんなを受け入れたいのですが、そういうわけにもいかない場合は、居住地近くのほかの自主保育グループを進めることもあります。が、今のところ、多すぎて困るということはないです。

質問：人数が多くなると、会計の人が集める金額が高額になって大変ではないのでしょうか。

答え：月会費は、保育者への月の給料としてすぐに払いますし、基本的にお金を必要なときに集めて、すぐに使うので、それほど大金が集まることはあまりありません。

※その他にもたくさんのご質問をいただき、ありがとうございました。

記：杉田・桑川

## ■後半：グループ交流 11:00～

テーマ「活動資金はどのようにしていますか？」

※後半は、2グループに分かれて意見交換、交流を行いました。

各グループ1人、書記をお願いしてメモを取っていただき、メモに基づいて簡単なまとめを載せました。

※2人以上で来られている団体の方は、各グループに分かれていただいています。

- ・ 2年前：会費1人あたり300円のみ。現在、スタッフ/年会費1200円、裏方を会員制にした。参加者/1回の参加費300円（参加者平均3～5組）労働会館和室4時間借りて1回の部屋代等実費1700円。参加者6人以上こないと採算が難しい。かといって人数が集まりすぎても1人1人細かにお話できなくなる。飲食できる公共施設は少ないので、どうしても（乳幼児連れにとっては）場所は労働会館になってしまう。（湘南おっばい育児の会）
- ・ 鵜沼地区に高木荘（飲食可）というのがあり、そこが使えるのでは？そこにお住まいだった高木さんが市に寄付したもの。今は市の施設。ここを利用する時は、鵜沼公民館（鵜沼市民センター）の駐車場も使える。利用には団体登録が必要。
- ・ 市からの助成金、民生委員の会費、地域でのバザー収益などでまかなっている（主任児童委員連絡会）
- ・ 会費なし。活動自体にお金かからない。障がい者関連は施設使用料が無料。イベント時その時参加者からお金を集めて、そのまま講師に渡す。（からふる・ふれんど）
- ・ 市との協働事業をおこなっている。（市から事業費が出ている）仕事なので、会費という考え方はない。（NPO法人 地域魅力）
- ・ 講座ごとに参加者からお金を集める。キャンセルが多くなった時リスクが大きい。（有償保育ボランティアの）託児付きだと特に。講師は同じように子供を持つお母さんに頼むことが多い。（まなびカフェ）
- ・ コープ組合員になるとコープのコミュニティルーム（無料）が使えるようになるので、活動場所に困っているみんなに教えたい（湘南どんぐりひろば）
- ・ 子供が卒会してしまうと、親も会から離れてしまうので、会の裏方スタッフとして残ってもらう工夫が必要。（でんでんむし）
- ・ 湘南テラスモールのコミュニティスペースが無料（飲食持込不可）。
- ・ 保健センターの会議室も無料で借りられるのではないかな？保健センターで保健士さんと講座を一緒に開くのはどうか。
- ・ 市内全域で活動したい（おっばい会さんのような）団体は、一つの場所にこだわらず、いろんな地域で開催したほうが人が集まるのでは？

## ■交流会終了後の感想・意見

※ それぞれ、紙に書いていただいたり、後日メールで感想をいただきました。  
ありがとうございました。

\* お金が絡むことはめんどろかもしれないけど、楽しくイベントをするために会費を設けざるを得ない。イベントを考えたり、組んだりするのは大変です。でも、イベントが終わり、皆さんの笑顔があると、良かったと思われ続けるのかな。私もそうなので、皆と一緒に楽しめる地域の関係を作っていきたいです。

\* 民生委員、主任児童委員さんの存在を知り、顔の見える関係を作りたいなと思いました。

\* これから自治会など地域のつながり大切だと思うので、貴重なお話が聞けてよかったです。自主保育の自然との関わり方も心に響きました。

\* 主任児童委員さんのことを知らなかったのが、よい機会になりました。他団体との定期的な交流は有効なのでよかったです。

\* 主任児童委員連絡会 知らないことばかりでした。もっと前面(?)に出て活動を・・・とも思いますが、個人情報やらで難しい時代なんでしょう。確かに助けて!!と外に声を上げられる方への子育て支援より、声に出せない方への支援を厚くできればいいですね。  
資金・・・この話題も深く聞けない話なので、おもしろかったです。

\* わかっているように思っていた団体も改めて説明を聞くことによってよく理解できた。連絡会で知り合った団体同士がさらに連携してそれぞれの活動をさらに生かせたら良いと思いました。

\* 活動資金の話はそれぞれあまり困っていないところも多く、あまり盛り上がりませんでした。でもお金のとらえ方はその団体の性格を如実に示していて面白かったです。

\* 主任児童委員さんの活動とその推薦でなること、子供会や青少協とつながっていることがよくわかってよかった。

／障害者の個人情報と民生児童委員さんの連携を取れたらと思います。／活動資金の集め方は各団体自主運営していく上で苦勞されているなと思いました。

\* 交流会に参加して、各団体の方々の貴重なお話を聞いて、参考になる部分がありました。会の運営など、それぞれ違いはありますが、交流を重ねて今後も情報交換できるのが楽しみです。

\* 初めて参加しましたが、各団体との交流ができて、私たちも何かお手伝いできることがあったら協力したいと思いました。又、参加したいと思います。

\* 主任児童委員さんのお話で人材確保の質問が出ましたが、広場のためだけに人が集められているわけではなく、広場のある時に必要人員が当てられると聞いてヒントが得られた。活動するに当たり、場所代が一番ネックになっていたが、高木荘の話聞いて、とてもいい情報がもたらえた。

子ども会さん、主任児童委員さんとお話できて、今後の連携に期待したいと思います。

\* この交流会を続けていくことで、それまでバラバラに活動していた団体、個人の接点や協力し合える点がそれぞれの見えてくるような気がします。  
みなさんありがとうございました。

---

【参考リンク】

★全国民生委員児童委員連合会（選任方法）

[http://www2.shakyo.or.jp/zenminjiren/minsei\\_zidou\\_summary/sennin.html](http://www2.shakyo.or.jp/zenminjiren/minsei_zidou_summary/sennin.html)

【引用】

「民生委員・児童委員は、民生委員法ならびに児童福祉法にその設置が定められています。  
（中略）

民生委員・児童委員は、市町村に設置された民生委員推薦会によりその選考が行われ、都道府県知事に推薦されます。推薦会は、市町村議会議員、民生委員・児童委員、社会福祉や教育関係者、行政機関職員等がそのメンバーとなります。都道府県知事は市町村で推薦された人々について都道府県に設置された地方社会福祉審議会に意見を聴いたのちに、厚生労働大臣に推薦し、厚生労働大臣が委嘱します。」

★厚生労働省

民生委員に対する個人情報の提供状況等について（資料）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/seikatsuhogo/minseiiin01/05.html>

★テラスモール湘南/コミュニティルームご利用案内

<http://terracemall-shonan.com/service/communityroom.php>

---

